

会 議 録

会議の名称	第2次甲州市総合計画 第3回審議会
開催日時	平成29年9月22日（金） 10：00～11：55
開催場所	甲州市役所 本庁舎2階 第一会議室
会長等氏名	会長 丸山正次 副会長 中村道子
出席者氏名	雨宮修、雨宮主計、雨宮亘、萱原春美、佐藤治光、佐藤多賀子 志村功、中村功、中村道子、平山尋文、保坂一久、丸山正次 橘田尊男
欠席者氏名	矢崎秀明
事務局	田辺市長 政策秘書課 曾根課長、古屋副主幹、飯島副主査、手塚担当
議 事	(1) 第2次甲州市総合計画の策定状況について (2) 意見交換
資 料	資料1：甲州市まちづくりプラン

(会議の経過)

発 言 者	発言内容・決定事項等
事務局	<p>(委嘱状交付) 29年度よりの新委員に委嘱状を交付します。</p>
	<p>(市長退出)</p>
事務局	<p>1 開 会 ただいまより、第2次甲州市総合計画の策定に向けた第3回審議会を開催します。</p>
	<p>(委員自己紹介及び事務局紹介) 29年度の委員自己紹介及び事務局紹介</p>
事務局	<p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議事 議事の進行については、甲州市附属機関設置に関する条例に基づき、会長に議長をお願いすることとなっています。丸山会長、お願いします。</p>
丸山会長	<p>(1) 第2次甲州市総合計画の策定状況について 次第に従って、議事を進行します。「(1) 第2次甲州市総合計画の策定状況について」から始めます。事務局より、説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(事務局により、会議資料の確認) 「資料1：甲州市まちづくりプラン」及び「前回資料：第2次甲州市総合計画策定方針」により、第2次甲州市総合計画の策定状況について、事務局より説明。</p>
丸山会長	<p>重点プランと総合計画のつながりがわかりにくい。 ただいまの説明に関し、自由にご意見をお出してください。</p>
中村 (功) 委員	<p>前回資料の「策定のための施策検証」において、誤りがあるので修正してほしい。1つは、P. 63の地域福祉計画の中の、「地域福祉法」とあるが、「地域福祉法」はないので、名称を変更する。2つ目は、P. 69の「介護保険サービスの充実」の中の「訪問看護」等について、民営化が決定しているので、表現を変更する。</p>
事務局	<p>ご指摘の箇所は、担当課より指摘があったので、資料を修正します。</p>

(会議の経過)

雨宮 (主) 委員	2点意見があります。1点目は、重点プランの取り扱いについては、分野別計画との整合性がわかりにくいので、総合戦略として別計画としておけばよいのではないか。2点目は、P. 10の就業人口に平成27年を追加した方がよいのではないか。
事務局	「重点プラン」については、わかりにくくなっているが、総合計画と総合戦略は相互に連携して推進することになっているので、関係性をわかりやすく示します。「就業人口」は、平成27年のデータを追加します。
佐藤 (多) 委員	施策の体系の基本目標VI「ともにつくる参画と協働のまちづくり」が、重点プランや基本計画に入っていない。
事務局	基本計画は、5年間で見直しを行うため、前期5年間ではどのようなことに重点をおいて進めていくかを示しているのが重点プランになります。分野別では、全分野の施策を示していますが、重点プランでは、全分野の施策の中から、重点的に進めていく施策を横断的に明確にしています。
雨宮 (亘) 委員	分野別計画の基本目標と重点プランの基本目標が一致しないので、重点プランは、第3部から除き、別の計画とする方がよい。
事務局	現在、総合戦略は、別の計画として策定されています。その中で、総合計画と相互連携して推進することになっており、人口減少への対策は重要な施策と考えられるため、総合計画にも明記しており、総合戦略が平成31年で計画期間が終了するため、継続して施策を進めていくことを前提としています。分野別計画との関係などは、明確にし、わかりやすくなるようにします。
中村 (功) 委員	10年前と同じ視点で計画を策定しない方がよい。そのため、ワンストップ化、組織の見直し、広域化、官民の連携という視点が必要と考える。
事務局	分野別計画の中で、ご指摘頂いた視点を盛り込んでいくことになります。観光や産業などの分野で、広域化は検討しており、行政改革や総合戦略の方向からの組織の見直しなどは検討しているところです。
平山委員	安全の分野で、P. 19で地震のことが出ているが、北朝鮮のミサイルへの対応なども必要ではないか。
事務局	基本計画の消防・防災の分野になるが、地域防災計画の中で、記載することは可能です。
萱原委員	P. 40の「減災対策と地域の防災力の強化」の中で、女性防災士を目指す

(会議の経過)

丸山会長	人に対し、研修制度を検討してほしい。
事務局	担当課に意見として伝えます。
丸山会長	重点プランは、分野別計画の後の方がよいのではないかと。分野別計画と重点プランの両方に、基本目標があるのはおかしいのではないかと。 議事(1)は、このくらいでよろしいでしょうか。それでは、議事(2)に進めます。自由にご意見をお願いします。
中村(功)委員	(2)意見交換 今後高齢者が多くなることを想定し、シニア人材の活用を進めるため、重点プランの基本目標3の重点施策を具体的に、もう1項目ぐらい増やした方がよいのではないかと。
事務局	総合戦略の内容であるので、分野別計画の方で、より具体的に盛り込めるように担当課に意見として伝えます。
志村委員	審議会の構成員の年齢が高いため、50歳以下の若い世代を参加させてほしい。
事務局	委員の選定は、各地区の団体の方にご依頼していたので、年齢までは考慮していませんでした。今後は、一般市民の公募で、若い世代や女性の委員を増やしていくようにします。
佐藤(治)委員	将来像に「果樹園」とあるが、農林業従事者の方が、アンケートでは12%程度の数字になっているが、甲州市の中でも30%や50%を超さないと思うので、農業の方にはよいが、一般の方には違うと考えられる。
事務局	果樹園の風景の中で、甲州市が育まれてきたということで、全体のイメージとしてキャッチフレーズにしています。
志村委員	観光などで、都市部から人が来てもらいたいため、このような表現をしていると考えている。
橘田委員	「果樹園」というキャッチフレーズはこれでよいと思うが、素晴らしい自然や農業を維持していくためには、ヒトとカネが必要である。しかしながら、農業後継者がいないのが現状であるが、この計画では後継者の問題が少ないのではないかと。合併して12年になるが、行政区割が残っているように感じる。
事務局	若い就農者や後継者の育成については、担当課に意見として伝えますが、担

(会議の経過)

平山委員	<p>当課でも検討しています。市としては、甲州市全体として業務を遂行しています。</p> <p>農業委員会法が改正になり、遊休農地や耕作放棄地への対応は、適正化推進委員と農業委員で進めることになるが、農業従事者の平均年齢が67歳であり、農業後継者がいないため、外からの就農者が増えているのが現状である。その中で、ぶどう、もも、すももの生産面積、生産量は全国一となっており、これを支えているのが兼業農家となっている。</p>
中村副会長	<p>P. 23のまちづくりの基本視点の3に「市民との協働」があるが、この市民との協働は重要になっていると感じている。そこで、民間の力を借りながら、市民の活用をより進めて頂きたい。</p>
事務局	<p>基本計画の基本目標VI「ともにつくる参画と協働のまちづくり」の中で、盛り込んでいきます。</p>
丸山会長	<p>特にご意見がないようなので、議事はここまでとします。</p>
中村副会長	<p>4 閉会 (閉会あいさつ)</p>
雨宮(亘)委員	<p>今後の審議会のスケジュールについて教えてほしい。</p>
事務局	<p>(今後のスケジュールについて説明)</p>

以上